

ATENのコントロールシステムが支える次世代オフィス環境 会議室から大規模ホールまで タッチパネル端末でスマート運用



導入先

ナカシマプロペラ株式会社

導入製品

VK2200コントロールシステム

ナカシマプロペラ株式会社は、2023年の新オフィスの竣工に合わせ、ATENのVK2200 コントロールシステムを利用した会議室の管理システムを導入しました。VK2200の採用により、タブレット端末を用いた直感的なGUIで複数のA/V機器を一元管理できるようになり、機器の操作の標準化と準備時間の短縮を実現しています。2階プレゼンテーションルームでは、プロジェクター2面やシーリングマイク、無線の投影機器を統合し、8階ホールでは120型スクリーンや高輝度プロジェクター、ワイヤレスマイク、PTZカメラによる配信機能を備えるなど、研修・講演・ウェビナー配信まで幅広い利用シーンに対応可能な環境を構築しました。これにより、運用効率化を実現し、将来のワークスタイル変革に資する先進的な会議室のインフラが整備されています。

取材のご協力

ナカシマプロペラ株式会社

総務部 太田 健様

Q. ATENのVKシリーズを御社の会議室で導入された背景を教えてください。

太田様：AV機器のコントロールに慣れていないと、マイクや電源スイッチなど、どの機器にどのような役割があるかわからないと思います。そうした課題を解消し、直感的にわかるようにするため、導入をしました。機器を利用する従業員の手間を減らすことと、準備が早くでき、すぐに打ち合わせに入れるという生産性の向上が導入の主な目的となります。導入したコントロールシステムの操作するタブレット端末では、アイコンの表示でわかりやすくなっており、使いやすいです。

Q. ATEN製品の導入前に検討された製品はありましたか。

特に他社との比較はしませんでした。既にナカシマプロペラ本社の工場でもATEN製品の映像系のコントロールを導入している実績があったので、イメージはつきやすかったのです。それまでの実績をふまえてATEN製品を選定し、導入を決めました。

Q. いつ頃からコントロールシステムの導入を検討されていたのでしょうか。

当社のビルは2023年に竣工したのですが、建物の設計と同時進行でした。ビルに入居するグループ各社で、どういう働き方をしたいかを全体で考える機会を設けて検討しました。その結果、会議室や人が集まれるような大きなホールの要望が挙がりました。あわせてオフィス空間の効率化にも取り組んでいます。自分たちが働きやすい環境を目指して、より利便性が高いシステムが必要と考えて、ATEN製品の導入を決めました。

Q. ご利用いただいている場所と製品をお聞かせください。

2階のプレゼンテーションルームで、プロジェクター、スクリーンの操作と音響機器の音量の調整などに利用しています。特に使用頻度が高いのがこちらです。ここでは、プロジェクター2面、シーリングマイク、スピーカー、USBデバイス接続などの多様な機器をATENのAVコントロールシステムで一括管理しています。壁面ホワイトボードや無線での投影機器も活用し、商談や社内外のワークショップにも活用できる環境が整っています。

8階の食堂兼会議室では、同様にコントロールシステムを使用しているほか、照明のコントロールもしています。8階は広いホールなので、他社の方を招いての打ち合わせや社内研修、月1回の合同会議の会場でも有効に活用しています。ここでは、120型電動スクリーン、高輝度のプロジェクター2台、シーリングスピーカー、ワイヤレスマイクシステムなどを導入し、イベントや講演会、ウェビナー配信にも対応できる設備を整えています。さらにPTZカメラを用いた映像配信により、9階のラウンジにも中継が可能で、多目的に活用できる環境となっています。



▲ナカシマプロペラ株式会社 太田 健様



▲コントロールシステムの操作端末



▲8Fの食堂兼ホール

導入製品

VK2200

コントロールボックス Gen.2



- ✓ クアッドコアCPU搭載の高性能プロセッサと2GBのメモリで、複雑なプロジェクトの設計・制御を実現
- ✓ 分離したデュアルLAN設計によりIT機器間をセキュアに通信
- ✓ 各種インターフェース接続をサポート

VK1200

コントロールボックス Gen.2(コンパクトタイプ)



- ✓ クアッドコアCPU搭載の高性能プロセッサと1GBのメモリで、複雑なプロジェクトの設計・制御を実現
- ✓ 分離したデュアルLAN設計によりIT機器間をセキュアに通信
- ✓ 各種インターフェース接続をサポート

VK236

6ポートIR/シリアル拡張ボックス



- ✓ 6カ所のIR/シリアルポートを装備したイーサネット-IR/シリアル変換ボックス
- ✓ ATENコントロールシステムにシリアルデバイスを追加接続できる拡張ソリューション

VE811

HDMIツイストペアケーブルエクステンダー(4K対応)



- ✓ HDBaseT Class A対応エクステンダー
- ✓ 最大4K*および1080pの解像度をサポート
- ✓ HDBaseTロングリーチモード対応
- 1080pで最大150m
- ✓ CEC準拠
- リモコン1台でHDMIデバイス同士の通信・制御が可能

導入効果



複数機器を一括制御できる
利便性の向上



プリセット機能による
トラブル削減



初期状態への自動リセットで
スムーズな業務再開



太田様：特に8階のホールでは制御している機器が多く、カーテンの開閉やプロジェクターの電源のオン・オフ、照明の調整などで、今までは自分で移動して行っていました。現在では1台の端末からすべてを操作できるようになりました。

また、以前は前回の利用者が変更した設定が残っていて、うまく使えないときに、社内の担当者に問い合わせを受けることがよくありました。導入したコントロールシステムでは、プリセットの設定ができるのと、電源を終了するとリセットされて初期状態に戻るの、その都度、機器の利用者が使いやすい形でプリセットを選んですぐに使用できます。業務がだいぶスムーズになりましたね。



▲8Fのコントロールルーム



Web サイト
<https://www.aten.com/jp/ja/>

入って安心!
製品保証延長
オプション



・掲載されている商品名・会社名等は、各社の商標並びに登録商標です。
・掲載した商品の仕様等は予告なしに変更する場合があります。

お問い合わせ・ご用命はこちらまで
お申し付けください

ATEN
ATEN ジャパン株式会社

東京本社
〒116-0003
東京都荒川区南千住 3-8-4 ATENビル
TEL : 03-5615-5810 FAX : 03-3891-3810
Email : sales@atenjapan.jp

東京支社	九州営業所	広島営業所
大阪支社	名古屋営業所	仙台営業所
札幌営業所	その他支店情報については 右記QRコードからご覧いただけます。	

